

大正五年四月六日第三種郵便物認可  
大正五年四月二十八日印刷納本（毎月一回一日發行）

# 哲學研究

第壹卷 第二冊

第二號

大正五年五月一日發行

社會意識の成立……………文學士 高田保馬

普遍に就て……………文學士 田邊 元

精神物理的法則（承前）……………文學士 千葉胤成

社會的教育學の過去及將來（承前）文學博士 小西重直

學界近況——ユーベルエツヒ哲學史第四卷新版——リツケルト

「認識の對象」第三版

彙報

新著紹介

京都帝國大學文學科大學  
京都哲學學會

## 京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究會ヲ開ク
  - 一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク
  - 一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文科大學内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名) 京都帝國大學文科大學哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
  - 一、書記(一名) 委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得
- 學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年貳圓貳拾錢、前後二期ニ分チテ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌『哲學研究』ノ配付ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

## 京都哲學會役員

### 委員

文學博士	西田幾多郎
文學博士	朝永三十郎
文學士	千葉 胤成
文學博士	狩野直喜
	米田庄太郎
文學博士	高瀬武次郎
文學士	中川得立
文學士	植田壽藏
文學博士	松本文三郎
文學士	深田武
文學博士	深田康算
文學博士	藤井健治郎
文學博士	小西重直
寶嚴方治	

### 書記

プラグマティズム

エフ・ニス・シー・シラー 著  
金子馬治 校閱  
田制佐重 纂譯

寄贈書籍

現代哲學第四編として譯出せられたものである。本書は、イギリス、プラグマティズムの驍將シラー氏の名論文を集めたものである。「プラグマティズム及びヒウマニズムの定義」「真理の曖昧」「真理の構成」「自由」「ダーキニズムと意匠」「實在の構成等の重要な論文やら、「真理」形而上學の倫理的基礎」「無用の智識」等の比較的初期の論文など、十四篇を譯述したものである。

プラグマティズムは一新機軸を出した認識論であると同時に、現代精神を代表する一種の新人生觀であり、此方面に興味を有する者は尠くはない。等しくプラグマティストでありながら、アメリカの故ゼームスが我國に紹介、翻譯せらるゝこと多きに反し、イギリス側のシラー氏の主張は未だ我國には廣く知られてゐない。この時に當り、この譯書の出たことは慶ぶべきことであらう。而て原著たるや、鋭利なる觀察と、精緻なる論理的分析とに富み、その議論の徹底的なるだけ理解に容易ではない。これを通讀し、容易なる邦語に譯された譯出者や、更に精密なる校閲によりて誤譯のなからんことを期せられた校閲者の勞を思はなければならぬであらう。(尾生光三郎) 東京牛込早稻田大學出版部發行 菊版六二二頁 定價金貳圓貳拾錢。

認識論

最近の自然科學

哲學概論

近世に於ける我の自覺史

プラグマテイズムの倫理說

プラグマティズム

文學士 紀平 正美著

文學士 田邊 元著

文學士 宮本和吉著

文學博士 朝永三十郎著

文學士 福井晋太郎著

田制佐重譯

岩波書店

同

同

寶文館

日黑書店

早稻田大學出版部

### 前 號 目 次

現代の哲學……………	文學博士	西田幾多郎
精神物理的法則……………	文學士	千葉胤成
佛像の美術史的研究……………	文學博士	松本文三郎
社會的教育學の過去及將來……………	文學博士	小西重直
ベルナルドボルツァーノ……………	文學士	中川得立

彙報——新著紹介——

### 會 告

一、本誌第一號は尙ほ事務不整頓の爲め發送洩れ等の向きも之れ有るべく、若し會員  
 中未だ御受取無き方は御手数乍ら其旨御一報煩し度候  
 一、會員中會費未納の方は本誌に挿入の振替貯金用紙を以て本月廿日迄に御拂込被下  
 度候

大正五年五月

京 都 哲 學 會

會 告

- 一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ御申込被下度候
- 一、會員ニシテ轉居セラレタル節ハ直チニ其旨御報知被下度候
- 一、會費ハ振替口座大阪參〇六六參番、京都哲學會宛テニ御拂込被下度候
- 一、會費ノ領收證ハ特ニ差出サズ雜誌帶封上ノ「會費領收濟」ノ捺印ヲ以テ之ニ代ニル事ト致シ候
- 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介、新刊書・交換雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學  
文科大學内 京都哲學會  
振替口座大阪參〇六六參番

價 定

冊	數	定	價	郵	稅
一冊	冊	金	貳拾	錢	壹
六冊	冊	金	壹百貳拾	錢	不
十二冊	冊	金	貳百四拾	錢	不
廣	告	料	一頁	金	拾圓
			半頁	金	六圓

註 文 規 定

- ◎會員にあらざる講讀者の御註文及び廣告に關する件は寶文館へ御申込下され度候
- ◎本誌の御註文はすべて代金郵稅共前金にて御送り下さるべく候
- ◎振替貯金にて御送金は(東京二八〇番)寶文館宛に願上候
- ◎前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候
- ◎見本御入用の場合は金貳拾錢御送り下され度候
- ◎特に請求書及領收書等を要する場合は郵券三錢御送付下され度候

大正五年四月二十八日印刷納本  
大正五年五月一日發行  
第二號 第一卷 第二册



編輯者 京都帝國大學文科大學内  
右代表者 寶嚴方治  
發行者 大葉久吉  
印刷者 青柳十一郎  
印刷所 秀英會第一工場

發行所 東京日本橋區本石町三丁目  
(振替口座東京二八〇番) 寶文館

發賣元 東京市日本橋區本石町三丁目  
大阪市東區淡路町四丁目 寶文館

賣捌所 (東京) 東京堂、東海堂、北隆館、  
良明堂、上田屋 (大阪) 盛文館  
(京都) 寶文館 (神戸) 寶文館

◀ 根柢ある獨逸の研究 ▶

京都帝國大學  
文科大學教授

文學博士 朝永三十郎著

最新刊

獨逸思想と其背景

本書は獨逸哲學を一貫せる中心特徴を捉へ之を準標として叙説したる、中世より現代に至るまでの獨逸思想の概觀史也。神秘説を背景として「理性」の哲學を叙し、「理性」の哲學を背景として「人文國家」の觀念、軍國主義的思想、新理想主義等の起源と基礎とを説く。著者の學殖と叙説の明快とは既に定評あり、茲に贅せず。獨逸哲學史の概觀と現代獨逸哲學新運動の核心とを知らんと欲する者は言ふまでもなく、一般に英佛思想に對する獨逸思想の特色を知りて根柢ある獨逸の研究をなさんと欲する人士の必讀をすむ。

目 要

- 一 神秘説と獨逸思想
- 二 「性理」の哲學「人文」の哲學としての獨逸哲學
- 三 獨逸思想と軍國主義
- 四 獨逸の現代哲學と其最近背景

四六判布裝
全一冊
定價金七拾五錢
送料金八錢

哲學研究

第二號

第一卷 第二冊 大正五年五月一日發行

(每月一回)

(大正五年四月六日)

定價金貳拾錢

大阪東區淡路町  
大替阪三四番

寶文館

東京市日本橋區本石町  
東替京二八〇番